次期計画の方向性（事務局の提案）

資料7

現在の課題※	将来の姿	5年後の目標
良質ストックの生 確認申請手続きの円滑化と，より質の高い建築物の生産が求められている	・手続きの簡略化が進んでいる ・建築物の質が向上している	・検査済証交付率が高水準で維持されている
既存ストックの活 既存ストックを安全な状態で有効に利活用することが求められている	・既存ストックが健全な状態で有効に活用されている	
情報整理 建築物に関する情報の整備が不足している	・各種データが集約されており必要な情報の把握が円滑に行えている	・確認申請時のデータベース化ができている ・定期報告が提出されていて，要是正項目が改善されている ・テーマを設定して査察を行っている
既存不適格 既存不適格建築物の現行基準への適合及び耐震性能の確保が求められている	・既存不適格建築物の現行基準への水準が向上している ・耐震化率が向上している	
事件・事故 建材の落下をはじめとする事故が多発し，不正事件が多発している	・維持保全がされていて事故が未然に防止されている ・不正が起こっていない	
違反 既存違反建築物に対する効果的な対策と違反発生の未然防止が求められている	・違反建築物の発生が未然に防止されている ・効率的な対策が実施されている	
危険 危険建築物に対する，居住状況に応じた効果的な対策が求めれている	・老朽建築物や危険建築物が減少している	
災害対応 迅速かつ的確な災害対応が求められている	・迅速かつ的確な災害対応が行えている	・災害後の行動イメージが共有されている
まちづくり 京都の特性を踏まえたまちづくりが求められている	・京都の特性を踏まえたまちづくりが進んでいる	・路地奥の再生や町家の保全・継承が促進されている

※二重で囲んでいる課題は，現計画策定時以降の状況の変化が特に影響しているもの

推進体制

- 制度運用分科会※
- 既存ストック対策分科会※
- 制度検討分科会※

※分科会の構成及び名称は現時点での事務局案であり，今後の検討により変更する場合があります。

- 取組テーマに応じたワーキングを適宜開催
- 広報媒体「あんあん通信」を活用した効果的な普及啓発

（再編案）取組内容

① 円滑かつ的確な確認審査の実施	② 定期報告制度を活用した取組	③ 既存ストックの活用を促進する取組	④ 既存ストックの適正化のための的を絞った対策	⑤ 所有者・建築士等の意識改革	⑥ 良質な建築物の誘導	⑦ 理想的なまちづくりに対応した制度運用
推進計画書 確認申請の質の向上と効率化（電子化等）				建築士等の意識・技術を向上させる取組	建築プランニングの質を向上させる取組 バリアフリーを向上させる取組 省エネを向上させる取組	京町家計画 歴史的価値のある建築物・町並みの保全・継承
	定期報告率の向上と定期報告制度を利用した効果的な啓発	検済なしガイドラインの活用				細街路対策指針 安全性が確保できている細街路における建築物の更新
		各種データベースの整備・活用				
		耐震改修促進計画 建築物の分類に応じた耐震化を促進する取組の推進				
		アスベスト対策の着実な推進				
		防火改修の着実な推進				
	優良な維持保全の事例紹介		的を絞った査察の実施			
違反予見建築物の確実な把握による早期対策の実施			違法設置ＥＶ対策			
			空き家計画			
				災害対応シミュレーションの実施		
						細街路対策指針 京町家計画 ・法規制の合理化に関する調査研究 ・京都の地域性を踏まえた，独自基準の研究